

プログラム 11月25日(金)

【第1会場】(大ホール1)

8:00~8:40 モーニングセミナー1

司 会：池内 浩基(兵庫医科大学 炎症性腸疾患外科)

5-ASA 不耐の臨床

中村 志郎(大阪医科大学 第2内科)

5-ASA 不耐の基礎

角田 洋一(東北大学病院 消化器内科)

共催：持田製薬株式会社

8:50~8:55 開会の辞

当番会長：中村 志郎(大阪医科大学 第2内科)

8:55~9:00 理事長挨拶

理事長：安藤 朗(滋賀医科大学 消化器内科学)

9:00~11:00 シンポジウム1: Multi option時代の治療選択と切り替えを考える

司 会：渡辺 憲治(兵庫医科大学 消化器内科学講座)

長沼 誠(関西医科大学 内科学第三講座)

板橋 道朗(東京女子医科大学 外科学講座 炎症性腸疾患外科分野)

SY1-1 Multi-option時代の難治性潰瘍性大腸炎に対する advanced therapy の現状

河合 幹夫(兵庫医科大学 消化器内科学講座)

SY1-2 潰瘍性大腸炎のステロイド依存を予測するモニタリング戦略に向けて

佐上晋太郎(北里大学北里研究所病院 炎症性腸疾患先進治療センター/消化器内科)

SY1-3 潰瘍性大腸炎患者に対するゴリムマブの治療効果と寛解に関連する臨床的背景の検討

平山 大輔(札幌医科大学医学部 消化器内科学講座)

SY1-4 当院における潰瘍性大腸炎に対するベドリズマブとウステキヌマブの使用状況

久能 宣昭(福岡大学病院 消化器内科)

SY1-5 潰瘍性大腸炎に対するウステキヌマブのポジショニング~Phoenix cohortのデータから~

安藤 勝祥(旭川医科大学内科学講座 病態代謝・消化器・血液腫瘍制御内科学分野(消化器・内視鏡学部門))

- SY1-6 潰瘍性大腸炎の急性重症例に対する ustekinumab の有効性
藤原 俊 (東京医科歯科大学病院 消化器内科)
- SY1-7 生物学的製剤時代の潰瘍性大腸炎の高齢症例における内科外科の連携
堀尾 勇規 (兵庫医科大学病院)
- SY1-8 クローン病に対するウステキヌマブの有効性は抗TNF製剤と同等である
志賀 永嗣 (東北大学病院 消化器内科)
- SY1-9 バイオナীবクローン病患者に対するウステキヌマブの長期治療成績
伊藤 貴博 (札幌東徳洲会病院 IBDセンター)
- SY1-10 小腸予後不良因子評価に基づいた早期Crohn病1st line治療選択
平賀 寛人 (弘前大学医学部 消化器血液内科学講座)

11:00~12:30 パネルディスカッション1:小児IBD診療における生物学的製剤の位置付け

司 会: 清水 俊明 (順天堂大学 小児科)

新井 勝大 (国立成育医療研究センター 消化器科・小児炎症性腸疾患センター)

- PD1-1 当院における小児クローン病の寛解導入療法の遷移
梶 恵美里 (大阪医科薬科大学 小児科)
- PD1-2 小児クローン病における生物学的製剤の長期継続率:日本小児IBDレジストリ研究
西田 大恭 (横浜市立大学附属市民総合医療センター 炎症性腸疾患 (IBD) センター)
- PD1-3 小児潰瘍性大腸炎におけるインフリキシマブ中止症例の経過と予後:日本小児IBDレジストリ研究
南部 隆亮 (埼玉県立小児医療センター 消化器・肝臓科)
- PD1-4 小児IBDセンターにおける小児期発症潰瘍性大腸炎患者に対するゴリムマブの使用経験
時田 万英 (順天堂大学 小児科)
- PD1-5 ウステキヌマブを初回の生物学的製剤として使用した小児Crohn病例に関して;単施設後方視的検討
神保 圭佑 (順天堂大学 小児科)
- PD1-6 当センターにおける小児期発症クローン病患者に対するウステキヌマブの使用経験
山本 陽子 (国立成育医療研究センター 消化器科・小児炎症性腸疾患センター)
- PD1-7 小児炎症性腸疾患患者におけるベドリズマブの有効性と安全性の検討:多施設共同研究
横山 孝二 (自治医科大学)

12:40~13:30 ランチョンセミナー1

司 会：仲瀬 裕志（札幌医科大学医学部 消化器内科学講座）

臨床試験から読み解く、スキリージによるUlcer-freeへの期待

藤井 俊光（東京医科歯科大学 消化器連携医療学／潰瘍性大腸炎・クローン病先端医療センター）

共催：アッヴィ合同会社

13:40~13:50 JSIBD Official Journal Karger IID 紹介

司 会：日比 紀文（北里大学北里研究所病院 炎症性腸疾患先進治療センター）

13:50~15:20 特別企画1：半世紀を迎えた難病研究班の現在，過去，未来

司 会：日比 紀文（北里大学北里研究所病院 炎症性腸疾患先進治療センター）

SP1-1 難病研究班黎明期の思い出

北野 厚生（大野記念病院 消化器内科 顧問）

SP1-2 渡辺班（2007-2013）総括

渡辺 守（東京医科歯科大学）

SP1-3 鈴木班（2014-2019）総括

鈴木 康夫（銀座セントラルクリニック）

SP1-4 久松班（2020-2022）総括および今の研究班に求められているもの

久松 理一（杏林大学医学部 消化器内科学）

SP1-5 今後の研究班へのメッセージ

朝倉 均（こうかんクリニック）

総括発言 日比 紀文（北里大学北里研究所病院 炎症性腸疾患先進治療センター）

15:30~16:10 アフタヌーンセミナー1：

実地医療における粘膜治癒から考える維持療法 — モニタリングを含めて —

司 会：松本 主之（岩手医科大学 内科学講座 消化器内科分野）

長期間でみた潰瘍性大腸炎におけるGMAの有用性

福知 工（医誠会病院 消化器内科／内視鏡センター）

実地医療におけるUC維持療法のモニタリング

垂水 研一（医療法人天馬会 チクバ外科・胃腸科・肛門科病院）

共催：株式会社JIMRO／アルフレッサファーマ株式会社

16:20~18:20 ワークショップ2:IBDの腸管外合併症をどう診るか

司会：松浦 稔（杏林大学医学部 消化器内科学）
 柿本 一城（大阪医科薬科大学 第二内科）

WS2-1 発症早期の炎症性腸疾患患者における腸管外合併症の臨床的特徴
 藤麻 武志（杏林大学医学部 消化器内科）

WS2-2 炎症性腸疾患腸管外合併症、壊疽性膿皮症のGMA治療の3例
 大森 敏秀（大森敏秀胃腸科クリニック）

WS2-3 Vedolizumabで治療中に発症した壊疽性膿皮症の2例
 鍋田 陽昭（大船中央病院）

WS2-4 潰瘍性大腸炎関連皮膚疾患腸管外合併症に対する血球成分除去療法の有用性の検討
 福生 有華（順天堂大学医学部附属練馬病院）

WS2-5 TNF α 阻害剤による逆説的皮膚反応に対してウステキヌマブは有効か？
 細見 周平（大阪公立大学大学院医学研究科 消化器内科学）

WS2-6 体軸性脊椎関節炎・強直性脊椎炎に合併する炎症性腸疾患の実態と臨床的特徴
 櫻井 俊之（東京慈恵会医科大学 内科学講座 消化器・肝臓内科）

WS2-7 原発性硬化性胆管炎を合併した潰瘍性大腸炎に対する診断群分類別包括評価を用いた臨床的検討
 矢野 恒太（東北大学病院）

WS2-8 炎症性腸疾患に合併したIgA腎症の臨床経過の検討
 林 亮平（広島大学病院 内視鏡診療科）

WS2-9 慢性型特発性血小板減少性紫斑病に難治性潰瘍性大腸炎が合併した一例
 田川 慧（埼玉医科大学総合医療センター）

WS2-10 炎症性腸疾患入院患者に合併する静脈血栓塞栓症発生率の推移とリスクの層別化
 立花 史音（旭川医科大学内科学講座 病態代謝・消化器・血液腫瘍制御内科学分野）

18:30~19:20 イブニングセミナー1

司 会：岡本 隆一（東京医科歯科大学 大学院医歯学総合研究科・消化器病態学）

腸上皮細胞障害抑制とJAK阻害

櫻庭 裕丈（弘前大学大学院医学研究科 消化器血液内科学講座）

JAK阻害剤の作用機序からみた潰瘍性大腸炎における役割と可能性

杉本 健（浜松医科大学医学部 内科第一講座）

共催：ファイザー株式会社

【第2会場】（大ホール2）

8:00~8:40 モーニングセミナー2

司 会：光山 慶一（久留米大学 名誉教授・客員教授／社会医療法人雪の聖母会 聖マリア病院
炎症性腸疾患センター）

IBDに対する腸内細菌療法の実際と展望

石川 大（順天堂大学医学部 消化器内科 細菌叢再生学講座）

共催：東亜新薬株式会社／東亜薬品工業株式会社

9:00~11:00 エキスパートと学ぶ若手のための症例検討

司 会：高津 典孝（福岡大学筑紫病院 炎症性腸疾患センター）

高橋 賢一（東北労災病院 炎症性腸疾患センター）

パネリスト：酒匂美奈子（東京山手メディカルセンター 炎症性腸疾患センター）

大北 喜基（三重大学医学部 消化管・小児外科）

三好 潤（杏林大学医学部 消化器内科学）

梅野 淳嗣（九州大学大学院 病態機能内科学）

CS-1 クロウン病における膿瘍形成・穿孔症例に対する外科治療

神山 篤史（東北大学大学院 消化器外科学）

CS-2 潰瘍性大腸炎関連腫瘍の症例

梁井 俊一（岩手医科大学 内科学講座消化器内科分野）

11:00~12:30 ワークショップ1：ベッドサイドからの基礎研究と臨床研究

司 会：内山 和彦（京都府立医科大学 消化器内科）

内野 基（兵庫医科大学 消化器外科学講座 炎症性腸疾患外科）

WS1-1 潰瘍性大腸炎患者に対する術後感染性合併症予測モデル作成

桑原 隆一（兵庫医科大学 消化器外科学講座 炎症性腸疾患外科）

WS1-2 潰瘍性大腸炎の発癌高リスク群予測における、RUNX3の免疫染色による評価の有用性

小松 更一（東京大学腫瘍外科）

WS1-3 クロウン病における抗TNF α 抗体療法の長期治療成績と臨床的因子、HLA-DQA1*05との関連解析

下田楓美子（東北大学大学院医学系研究科 消化器病態学分野）

WS1-4 潰瘍性大腸炎患者における抗TNF- α 抗体薬中止時の免疫調節薬併用と再燃率の検討

阿曾沼邦央（昭和大学藤が丘病院）

- WS1-5 寛解期潰瘍性大腸炎における白血球数と免疫調節薬の治療効果に関する検討 IBD 臨床研究てらこや成果報告
清原 裕貴 (慶應義塾大学医学部 内科学 (消化器))
- WS1-6 機械学習を用いた潰瘍性大腸炎におけるウステキヌマブの有効性予測
森久保 拓 (杏林大学医学部 消化器内科学)
- WS1-7 潰瘍性大腸炎における血栓形成関連因子についての検討
平田 有基 (大阪医科薬科大学)
- WS1-8 炎症性腸疾患の病態形成におけるセリンプロテアーゼPRSS8の機能解析
西田 淳史 (滋賀医科大学 消化器内科)
- WS1-9 腸管炎症病態におけるD-アラニンの役割に関する検討
橋本 光 (京都府立医科大学 消化器内科)
- WS1-10 マウス大腸癌同所移植モデルを用いた抗TNF α 抗体製剤の悪性腫瘍に与える影響の検討
高砂 健 (広島大学病院 内視鏡診療科)

12:40~13:30 ランチョンセミナー2

司 会：日比 紀文 (北里大学北里研究所病院 炎症性腸疾患先進治療センター)

潰瘍性大腸炎治療の基本からSDMまで

松岡 克善 (東邦大学医療センター佐倉病院 消化器内科)

共催：ヤンセンファーマ株式会社／田辺三菱製薬株式会社

15:30~16:10 アフタヌーンセミナー2

司 会：金井 隆典 (慶應義塾大学医学部 内科学 (消化器))

炎症性腸疾患と腸内細菌に関する話題

平井 郁仁 (福岡大学医学部 消化器内科学講座)

潰瘍性大腸炎とビフィドバクテリウムを考える

内藤 裕二 (京都府立医科大学大学院医学研究科 生体免疫栄養学講座)

共催：ビオフェルミン製薬株式会社／大正製薬株式会社

16:20~18:20 JSIBD-KASID Joint Symposium

Chairpersons : Sung-Ae Jung (Ewha Womans University School of Medicine)
Shinichiro Shinzaki (Hyogo College of Medicine)

Session I : Discontinuation of biologics

Keynote Taku Kobayashi (Kitasato University Kitasato Institute Hospital)

Session II : Updates on biosimilars

Keynote Eun Soo Kim (Kyungpook National University School of Medicine)

Session III : Novel understanding of IBD pathogenesis

**JK-1 Identification of an Anti-Integrin $\alpha v \beta 6$ Autoantibody in Patients with
Ulcerative Colitis**

Masahiro Shiokawa (Kyoto University Graduate School of Medicine)

JK-2 Genetics of inflammatory bowel disease: The Asian Perspective

Ho-Su Lee (University of Ulsan College of Medicine)

18:30~19:20 イブニングセミナー2: IBD 診療で解決すべき様々な課題を考える

司 会 : 藤谷 幹浩 (旭川医科大学内科学講座 病態代謝・消化器・血液腫瘍制御内科学分野)

演 者 : 平岡佐規子 (岡山大学病院 炎症性腸疾患センター)

松浦 稔 (杏林大学医学部 消化器内科学)

共催 : 日本化薬株式会社

【第3会場】（小ホール）

9:00~9:36 一般演題1（口頭）

座長：桂田 武彦（北海道大学病院 光学医療診療部）

高林 馨（慶應義塾大学医学部 内視鏡センター）

01-1 アダリムマブ投与潰瘍性大腸炎患者へのアンケート

林田 江里（医療法人愛知会 家田病院）

01-2 IBDクリニックを受診する新規患者の受診形態と診断名に関する検討

佐久間康美（札幌IBDクリニック）

01-3 アプリを用いた患者報告アウトカムPRO2連日記録の臨床的意義

土屋輝一郎（筑波大学）

01-4 潰瘍性大腸炎患者における経口副腎皮質ステロイド開始用量と肺炎発生との関連：レセプト・データベース研究

松岡 克善（東邦大学医療センター佐倉病院 消化器内科）

01-5 IBD専門医不在の病院で薬剤師ができること～ステロイドの離脱に向けて～

藤林 遼（北海道消化器科病院）

01-6 A病院のIBDチーム活動の現状と今後の課題～看護師の取り組みを中心に～

岡田 和美（国家公務員共済組合連合会 呉共済病院 看護部）

9:40~10:16 一般演題2（口頭）

座長：松本 啓志（川崎医科大学 消化器内科）

清水 泰岳（国立成育医療研究センター 消化器科 小児IBDセンター）

02-1 クロウン病患者において痔瘻の合併はQOLや労働生産性を低下させる

三枝 直人（増子記念病院 IBDセンター）

02-2 当院のクロウン病患者における痔瘻合併に関する背景因子の探索的調査

水野 光（インフュージョンクリニック）

02-3 小児クロウン病における完全経腸栄養療法の効果：病変部位との関係

宮沢 絢子（埼玉県立小児医療センター 消化器・肝臓科）

02-4 当施設で経験した小児分類不能型炎症性腸疾患についての検討

三浦 義一（地方独立行政法人 大阪府立病院機構 大阪母子医療センター 消化器・内分泌科）

02-5 小児における大腸内視鏡検査の重要性

森田 俊（久留米大学医学部 内科学講座消化器内科部門）

- O2-6 小児炎症性腸疾患における血清LRGと血清カルプロテクチンの有用性の比較検討
安田 亮輔 (久留米大学医学部 小児科)

10:20~10:56 一般演題3 (口頭)

座長：山本 修司 (京都大学医学部附属病院 消化管内科)
鳥巢 剛弘 (九州大学病院 消化器内科)

- O3-1 治癒が得られた好酸球性胃腸炎の2例
一宮 匡 (東京医科大学病院 消化器内科学分野)
- O3-2 食道に多発する打ち抜き潰瘍および潰瘍性大腸炎様内視鏡所見を合併した多発血管炎性肉芽腫症疑い例
西澤 拓哉 (群馬大学大学院医学系研究科 小児科)
- O3-3 クロウン病妊婦の人工肛門脱出を皮膚・排泄ケア認定看護師及びクリニックと連携し砂糖散布法で治療した一例
松林 真央 (横浜市立大学附属市民総合医療センター 炎症性腸疾患 (IBD) センター)
- O3-4 潰瘍性大腸炎の増悪との判断に苦慮した腸管型末梢T細胞リンパ腫の一例
山梨 香菜 (JCHO札幌北辰病院 消化器内科)
- O3-5 炎症性腸疾患に合併した悪性リンパ腫8例の検討
横田 佳大 (滋賀医科大学 消化器内科)
- O3-6 免疫チェックポイント阻害薬誘発性大腸炎における経腹超音波検査の特徴と有用性：単施設前向き観察研究
桜井 健介 (北海道大学病院 消化器内科)

11:00~11:30 一般演題4 (口頭)

座長：大宮 直木 (藤田医科大学医学部 先端光学診療学講座)
志賀 永嗣 (東北大学病院 消化器内科)

- O4-1 当院におけるステロイド抵抗例・依存例潰瘍性大腸炎患者に対するウステキヌマブの治療成績の検討
米田 頼晃 (近畿大学医学部 消化器内科)
- O4-2 潰瘍性大腸炎に対するウステキヌマブの中長期有効性の検討
大森 将史 (順天堂大学 消化器内科)
- O4-3 当院における潰瘍性大腸炎に対するウステキヌマブの治療成績
安川 重義 (福岡大学筑紫病院 消化器内科)
- O4-4 潰瘍性大腸炎におけるUstekinumab(UST)治療に対する好適症例を探る
篠原 裕和 (東京医科大学 消化器内科学分野)

- 045 潰瘍性大腸炎におけるインフリキシマブとウステキヌマブのポジショニングについて
荻野 治栄 (九州大学病院 病態制御内科)

11:30~12:00 一般演題5 (口頭)

座長：横山 薫 (北里大学医学部 消化器内科)
高木 智久 (京都府立医科大学 消化器内科)

- 05-1 潰瘍性大腸炎に対する Adalimumab 増量について
横尾 貴史 (社会医療法人健生会 土庫病院 奈良大腸肛門病センター)
- 05-2 潰瘍性大腸炎患者を対象としたトファシチニブ特定使用成績調査2022年1月中間解析結果
松岡 克善 (東邦大学医療センター佐倉病院 消化器内科)
- 05-3 潰瘍性大腸炎における JAK 阻害剤の現状
浅川 幸子 (山梨県立中央病院 消化器内科)
- 05-4 潰瘍性大腸炎重症例に対するトファシチニブの有効性の検討
矢野慎太郎 (順天堂大学医学部附属浦安病院)
- 05-5 難治性潰瘍性大腸炎治療におけるトファシチニブの長期使用成績
青沼 優子 (東京医科歯科大学 消化器内科)

12:00~12:30 一般演題6 (口頭)

座長：山本章二郎 (宮崎大学医学部附属病院 消化器内科)
遠藤 克哉 (東北医科薬科大学 消化器内科)

- 06-1 当院における潰瘍性大腸炎に対するベドリズマブの使用成績と治療戦略
板井 良輔 (静岡県立総合病院)
- 06-2 当院における潰瘍性大腸炎 (UC) 患者に対するベドリズマブの治療成績と寛解成功例の検討
河野 匡志 (近畿大学病院)
- 06-3 潰瘍性大腸炎に対するベドリズマブ治療の検討
藤本龍太郎 (東海大学医学部附属八王子病院)
- 06-4 当院における潰瘍性大腸炎患者に対するベドリズマブの有効性と安全性の検討
小島健太郎 (岐阜大学医学部附属病院 第一内科)
- 06-5 潰瘍性大腸炎に対する Vedolizumab の治療効果予測因子と次の一手
伊藤顕太郎 (順天堂医院)

16:20~16:56 一般演題7 (口頭)

座長：吉田 篤史 (大船中央病院 消化器・IBDセンター)
富永 圭一 (獨協医科大学医学部 内科学 (消化器) 講座)

- 07-1 潰瘍性大腸炎におけるベドリズムマブの有害事象発現に影響する患者背景因子に関する検討
杉山 浩平 (札幌IBDクリニック)
- 07-2 Vedolizumabの作用機序から考えた難治性潰瘍性大腸炎に対する投与方法についての検討
浦野 春奈 (浜松医科大学 第一内科)
- 07-3 顆粒球除去療法が有効であった潰瘍性大腸炎患者における、ベドリズムマブの有効性に関する検討
才木 琢登 (山口赤十字病院 消化器内科)
- 07-4 タクロリムスでの寛解導入後に維持療法として生物学的製剤を用いた重症潰瘍性大腸炎症例の検討
愛澤 正人 (福島県立医科大学会津医療センター 小腸大腸内科)
- 07-5 潰瘍性大腸炎寛解導入療法におけるタクロリムスと抗TNF製剤の長期予後に関する検討
良原 丈夫 (大阪大学大学院医学系研究科 消化器内科学)
- 07-6 潰瘍性大腸炎の難治性因子に関する検討
浪岡万由子 (札幌医科大学医学部 消化器内科学講座)

17:00~17:36 一般演題8 (口頭)

座長：馬場 重樹 (滋賀医科大学医学部附属病院 光学医療診療部)
三上 洋平 (慶應義塾大学医学部 内科学 (消化器))

- 08-1 当院における臨床的寛解患者の内視鏡的活動性と再燃リスクについての検討
吉江 智郎 (北播磨総合医療センター 消化器内科)
- 08-2 ウステキヌマブ又はアダリムマブを投与された患者の内視鏡的活動性の影響：
SEAVUE試験
江崎 幹宏 (佐賀大学医学部 内科学講座 消化器内科)
- 08-3 クロウン病に対するウステキヌマブ52週間投与による安全性と有効性：特定使用成績調査
松本 主之 (岩手医科大学 内科学講座 消化器内科分野)
- 08-4 クロウン病に伴う肛門病変に対するウステキヌマブ52週投与による安全性と有効性：
特定使用成績調査
永野 克将 (ヤンセンファーマ株式会社)

08-5 当院のクローン病患者に対するウステキヌマブの有用性と安全性の検討
中村 美咲 (三重大学医学部附属病院 消化器肝臓内科)

08-6 ウステキヌマブによるクローン病術後寛解維持治療の効果
酒匂美奈子 (東京山手メディカルセンター 炎症性腸疾患内科)

17:40~18:16 一般演題9 (口頭)

座 長：杉田 昭 (横浜市立市民病院 炎症性腸疾患科)
水島 恒和 (大阪警察病院 消化器外科)

09-1 GLP-2アナログ製剤投与中に胆嚢炎・総胆管結石を合併し外科治療を要したクローン病短腸症候群の1例
渡谷 祐介 (広島大学大学院医系科学研究科 外科学)

09-2 クローン病に対する直腸切断術後に発生した会陰創腸管瘻の臨床経過
立野 瑞樹 (横浜市立市民病院)

09-3 クローン病に対する腹腔鏡下手術の検討
大曾根勝也 (群馬大学大学院医学系研究科 総合外科学)

09-4 CT enterographyを用いたクローン病診療における緊急入院・手術例の検討
橋本 真一 (山口大学医学部附属病院 光学医療診療部)

09-5 当院での高齢のクローン病患者に対する腸管切除症例の手術成績の検討
長谷川 誠 (大阪大学 大学院医学系研究科 外科学講座 消化器外科学)

09-6 潰瘍性大腸炎に合併した難治強膜炎が大腸全摘術後に改善した一例
大西 美沙 (横浜市立大学附属市民総合医療センター 炎症性腸疾患 (IBD) センター)

プログラム 11月26日(土)

【第1会場】(大ホール1)

8:00~8:40 モーニングセミナー3:クローン病の治療選択を考える

司 会: 江崎 幹宏(佐賀大学医学部 内科学講座 消化器内科)

クローン病小腸病変に対するウステキヌマブ治療について

平田 有基(大阪医科薬科大学 第二内科)

クローン病治療におけるウステキヌマブの有用性

加藤 真吾(埼玉医科大学総合医療センター 消化器・肝臓内科/埼玉医科大学かわごえクリニック IBDクリニック外来)

共催: ヤンセンファーマ株式会社/田辺三菱製薬株式会社

8:50~10:50 パネルディスカッション2: Multi Biomarker, Multi Modality 時代における病変評価とIBD診療

司 会: 江崎 幹宏(佐賀大学医学部 内科学講座消化器内科)

平岡佐規子(岡山大学病院 炎症性腸疾患センター)

PD2-1 便中カルプロテクチンによる潰瘍性大腸炎におけるウステキヌマブの長期有効性の予測
竹内 健(辻仲病院柏の葉 消化器内科 IBD センター)

PD2-2 潰瘍性大腸炎における血清LRGの有用性と最適なカットオフ値の検討
松本 吏弘(自治医科大学附属さいたま医療センター)

PD2-3 潰瘍性大腸炎の疾患活動性をより鋭敏に反映するバイオマーカーの探索
原 あずさ(葛城病院)

PD2-4 FITとLRGを用いた寛解期潰瘍性大腸炎の長期予後の検討について
本澤 有介(関西医科大学 内科学第三講座)

PD2-5 Gelsolinは潰瘍性大腸炎の内視鏡的活動性と粘膜治癒を反映するバイオマーカーとなる
前田 啓子(名古屋大学医学部附属病院)

PD2-6 寛解期潰瘍性大腸炎患者の腸管エコーによる再燃予測
前田 真佐(北里大学北里研究所病院 炎症性腸疾患先進治療センター)

PD2-7 クローン病の小腸病変モニタリングにおける新規バイオマーカーの有効性
河本 亜美(東京医科歯科大学 消化器内科)

- PD2-8 無症候期クローン病の小腸病変評価におけるカプセル内視鏡と便中カルプロテクチン測定の有用性
坂谷 慧 (旭川医科大学 内科学講座病態代謝・消化器・血液腫瘍制御内科学分野 (消化器・内視鏡学部門))
- PD2-9 前向き試験による各種バイオマーカーのクローン病小腸病変検出力の比較: LRG vs 便中カルプロテクチン
下山 貴寛 (四日市羽津医療センター 外科・IBDセンター)
- PD2-10 クローン病131例の内視鏡的粘膜治癒に対するLRGのカットオフ値の検討
小黑 邦彦 (自治医科大学 内科学講座消化器内科学部門)
- PD2-11 臨床的寛解期IBDにおける血清学的biomarker乖離例の検討
大森 鉄平 (東京女子医科大学 消化器内科)
- PD2-12 抗TNF- α 抗体製剤治療におけるQuantum Blue[®] Readerを用いた薬物モニタリングの有用性
今給黎 宗 (福岡大学医学部 消化器内科学講座)

11:00~11:50 特別企画2: IBDの粘膜免疫と最新治療薬のMOA

司 会: 渡辺 守 (東京医科歯科大学)

- SP2 IBDの粘膜免疫と最新治療薬のMOA
安藤 朗 (滋賀医科大学医学部 消化器内科学)

12:00~12:30 特別企画3: SARS-Cov2禍のIBD診療を総括する Taskforceからの報告

司 会: 中村 志郎 (大阪医科薬科大学 第二内科)

- SP3 SARS-Cov2禍のIBD診療を総括する Taskforceからの報告
仲瀬 裕志 (札幌医科大学医学部 消化器内科学)

12:40~13:30 ランチョンセミナー3

司 会: 久松 理一 (杏林大学医学部 消化器内科学)

- IBDにおける就労・就学支援の重要性
猿田 雅之 (東京慈恵会医科大学 内科学講座 消化器・肝臓内科)

共催: 武田薬品工業株式会社

**13:50～15:20 パネルディスカッション3：理想的なIBDチーム医療とは何か、実践するには？
～より良いチーム医療と望ましいMSタスク管理、患者さんの利益に繋げるために～**

司 会：内野 基（兵庫医科大学 消化器外科学講座 炎症性腸疾患外科）
中村 健志（島根大学医学部附属病院 薬剤部）
水野 光（錦秀会インフュージョンクリニック 看護部）

PD3-1 炎症性腸疾患チーム医療における患者-医療者の関係性についての考察
乾 彰弘（兵庫医科大学病院 看護部）

PD3-2 診療・教育・研究の両立を目指した多職種チーム医療の取り組み
北條 紋（北里大学北里研究所病院 炎症性腸疾患先進治療センター）

PD3-3 地域の一般病院でIBD患者さんを支えるために
淵上 綾子（日本鋼管病院）

PD3-4 青年期クローン病患者に対する多職種による包括的ケアの取り組みについて ～チーム医療の必要性を考える～
霍田 菊代（大腸肛門病センター高野病院）

PD3-5 問診票から見えてきたIBD患者が抱える問題
～日常生活と気持ちを支えるチーム医療～
八柳 千春（北里大学病院 看護部）

PD3-6 炎症性腸疾患が患者の労働生産性に与える影響についての検討
宇田川祐実（東京医科歯科大学 消化器内科）

統括発言：日比 紀文（北里研究所病院 炎症性腸疾患先進治療センター）

**15:30～16:10 アフタヌーンセミナー3：分子標的治療薬時代における基準薬（5-ASA）の重要性
-5-ASA 不耐への対応も踏まえて-**

司 会：土屋輝一郎（筑波大学医学医療系 消化器内科）

5-ASA 使用時のポイントと留意点（不耐例を含む）
櫻井 俊之（東京慈恵会医科大学 消化器・肝臓内科）

5-ASA 不応／継続困難時の治療強化の指標とタイミング
新崎信一郎（兵庫医科大学 消化器内科学）

共催：杏林製薬株式会社

16:20～17:50 パネルディスカッション4：IBDの既存治療をとことん見直す！

司 会：平井 郁仁（福岡大学医学部 消化器内科学講座）
角田 洋一（東北大学病院 消化器内科）

- PD4-1 内視鏡 Mayo スコア1の潰瘍性大腸炎患者に対する経口5-ASA 製剤の増量は臨床的再燃を抑制する
福田 知広 (慶應義塾大学医学部 内科学 (消化器))
- PD4-2 潰瘍性大腸炎患者において5-ASA 製剤の服薬遵守は寛解維持率を向上する – 前向き アンケート調査より –
別府 剛志 (三重大学医学部附属病院 消化器・肝臓内科)
- PD4-3 当院における潰瘍性大腸炎に対する5ASA 治療の現状と課題
松本 啓志 (川崎医科大学 消化器内科)
- PD4-4 当院のIBD 患者における5ASA 不耐症例の検討
濱元ひとみ (鮫島病院)
- PD4-5 当院におけるメサラジン製剤不耐症の現状と対応
玉置 敬之 (高松赤十字病院)
- PD4-6 5-アミノサリチル酸不耐症における複数薬剤に対する薬剤リンパ球刺激試験の意義
班目 明 (東京医科大学病院 消化器内科)
- PD4-7 潰瘍性大腸炎における5-ASA 不耐の予後と最適な治療法についての検討
谷口 勝城 (横浜市立大学附属市民総合医療センター・炎症性腸疾患 (IBD) センター)
- PD4-8 潰瘍性大腸炎患者におけるチオプリン製剤減量・休薬時の内視鏡・病理組織学的所見の変化
山名 瑤子 (北里大学北里研究所病院)
- PD4-9 チオプリン製剤による薬剤性瘰癧に関連するリスク因子の検討
大泉 智史 (岩手医科大学 内科学講座消化器内科分野)
- PD4-10 NUDT15 遺伝子検査の実用化前後でのチオプリン製剤の治療継続率などの比較検討
幕内 大貴 (東北大学病院)

17:50~18:00 閉会の辞

次担当番会長：池内 浩基 (兵庫医科大学 炎症性腸疾患外科)

【第2会場】（大ホール2）

8:00~8:40 モーニングセミナー4

司 会：長沼 誠（関西医科大学 内科学第三講座）

ジセレカの特徴を踏まえた潰瘍性大腸炎治療の repositioning

小林 拓（北里大学北里研究所病院 炎症性腸疾患先進治療センター）

共催：ギリアド・サイエンシズ株式会社/EA ファーマ株式会社

8:50~10:50 ワークショップ3：本邦IBD診療の第3極 IBDプライベートの現状とこれからの役割

司 会：鈴木 康夫（銀座セントラルクリニック）

小畑 寛純（医療法人 小畑内科クリニック）

前本 篤男（札幌東徳洲会病院 IBDセンター）

WS3-1 クリニックにおける潰瘍性大腸炎初回治療例の臨床的検討

井上 拓也（いのうえ消化器内科クリニック）

WS3-2 便中カルプロテクチンに対する患者・医師間のギャップとクリニックにおける迅速検査の意義

樋田 信幸（ひだ胃腸内視鏡クリニック）

WS3-3 患者アンケートから考える、IBDプライベートクリニックのタスク

鈴木 直之（なお消化器内科クリニック）

WS3-4 当クリニックにおける炎症性腸疾患患者の利便性向上への取り組み

石田 哲也（石田消化器IBDクリニック）

WS3-5 生駒胃腸科肛門科診療所におけるIBD診療-患者さんの社会生活を守る診療を目指して-

増田 勉（生駒胃腸科肛門科診療所）

WS3-6 当院で大切にしていること

有光 晶子（医療法人錦秀会インフュージョンクリニック）

WS3-7 札幌市のIBDクリニックにおける診療の実際

田中 浩紀（札幌IBDクリニック）

WS3-8 当院における炎症性腸疾患診療連携の実態について

吉野 琢哉（医療法人嘉祥会よしの内科クリニック）

WS3-9 実地医家における潰瘍性大腸炎の診療実態と病診・診診連携について

村野 実之（医療法人 むらのクリニック）

WS3-10 京都市内の基幹病院である当院における、IBD病診連携の現状と工夫

堀田 祐馬（京都第二赤十字病院 消化器内科）

WS3-11 同大学施設内での病診連携 – IBDクリニック外来の試み

加藤 真吾 (埼玉医科大学総合医療センター 消化器・肝臓内科)

WS3-12 IBD診療における地域医療機関との連携～コロナ禍における新たな試み～

横山 薫 (北里大学医学部 消化器内科学)

患者会から見たIBD患者の要望と変化

特別発言1 布谷 嘉浩 (IBDネットワーク)

特別発言2 田中 博 (TOKYO・IBD)

12:40～13:30 ランチョンセミナー4:潰瘍性大腸炎治療の新展開

司会: 安藤 朗 (滋賀医科大学医学部 消化器内科)

ウパダシチニブによる導入療法を考察する

横山 薫 (北里大学医学部 消化器内科学)

ウパダシチニブによる維持療法と期待

竹内 健 (辻仲病院柏の葉 消化器内科)

共催: アッヴィ合同会社

13:40～13:50 日本炎症性腸疾患学会 派遣医師参加報告

司会: 長沼 誠 (関西医科大学 内科学第三内科)

RE-1 The 17th Congress of ECCO 参加報告

三浦 みき (杏林大学医学部 消化器内科学)

13:50～15:20 ワークショップ4:IBD診療における栄養障害と対策

司会: 小金井一隆 (横浜市立市民病院 炎症性腸疾患科)

長堀 正和 (東京医科歯科大学病院 臨床試験管理センター)

WS4-1 高齢潰瘍性大腸炎患者における栄養評価は疾患予後を予測する

清水 光 (春秋会城山病院)

WS4-2 クロウン病患者の栄養障害評価における phase angle の意義について

馬場 重樹 (滋賀医科大学医学部附属病院 光学医療診療部)

WS4-3 炎症性腸疾患患者に対するカルボキシマルトース第二鉄注射液の有効性の検討

有吉 美紗 (広島大学病院 内視鏡診療科)

WS4-4 クロウン病外来患者におけるビタミンD及び亜鉛欠乏症

斎藤 恵子 (東京医科歯科大学病院 臨床栄養部)

WS4-5 潰瘍性大腸炎に対する亜鉛摂取と和食による栄養療法の検討

宮口 和也 (埼玉医科大学 消化管内科)

WS4-6 低亜鉛血症を有する炎症性腸疾患患者に対する亜鉛補充療法の有効性：二施設共同後方視的観察研究

桜井 健介 (北海道大学病院 消化器内科)

WS4-7 在宅中心静脈栄養療法導入したクローン病症例の特徴と問題点

黒木 博介 (横浜市立市民病院 炎症性腸疾患科)

WS4-8 クローン病の腸管不全 (短腸症候群) 例における栄養障害と対策

渡辺 和宏 (東北大学大学院 消化器外科学)

15:30~16:10 アフタヌーンセミナー4

司 会：鈴木 康夫 (銀座セントラルクリニック / 東邦大学医学部 客員教授)

Bowel urgency: the urgent patient need

Simon Travis (Kennedy Institute and Translational Gastroenterology Unit Oxford, UK)

共催：日本イーライリリー株式会社

16:20~17:50 プレナリーセッション

座 長：緒方 晴彦 (慶應義塾大学医学部 内視鏡センター)

飯島 英樹 (大阪警察病院 消化器内科)

PS-1 生物学的製剤使用中の炎症性腸疾患患者における妊娠・出産例の臨床学的検討

古屋 茜 (北里大学医学部 消化器内科)

PS-2 潰瘍性大腸炎合併妊娠の妊娠前ステロイドフリー寛解期間が産後の疾患活動性に与える影響

池田 礼 (横浜市立大学医学部 消化器内科学教室)

PS-3 小児クローン病患者に対する診断後半年以内の治療内容：小児IBDレジストリ解析

石毛 崇 (群馬大学小児科)

PS-4 家族性地中海熱遺伝子関連腸炎に特徴的な腸管超音波所見の検討

渋谷 俊祐 (横浜市立大学附属市民総合医療センター 炎症性腸疾患 (IBD) センター)

PS-5 炎症性腸疾患におけるサイトカインパターンを判別するバイオマーカーの検討

浅井 雄介 (浜松医科大学附属病院 第一内科)

PS-6 寛解期潰瘍性大腸炎患者の再燃に関連する口腔内・腸内細菌叢の検討

沼 圭次朗 (大阪医科薬科大学附属病院 第二内科)

- PS-7 日本人クローン病患者の腸内ウイルス叢の検討
今井 隆行 (滋賀医科大学 光学医療診療部)
- PS-8 α ディフェンシン1-3の遺伝子コピー数多型は潰瘍性大腸炎の治療反応性の予測マーカーとなる
前田 将久 (鹿児島大学大学院 消化器疾患・生活習慣病学)
- PS-9 超早期発症型炎症性腸疾患関連遺伝子がクローン病患者の肛門病変に与える影響について
内藤 健夫 (東北大学 消化器内科)

【第3会場】（小ホール）

8:50~9:26 一般演題10（口頭）

座長：北村 和哉（市立砺波総合病院 消化器内科）
下平 陽介（秋田大学大学院 消化器内科学・神経内科学講座）

- O10-1 ステロイドパルスとトファシチニブの併用によって中毒性巨大結腸症を回避できた潰瘍性大腸炎の1症例
大武 春香（呉共済病院 総合診療科）
- O10-2 青黛にて肺動脈性肺高血圧症を発症した潰瘍性大腸炎3例
田中 義大（呉共済病院 消化器内科）
- O10-3 両側顎関節無菌性膿瘍，左膝関節炎を合併した難治性潰瘍性大腸炎の1例
井上 須磨（佐賀大学医学部内科学講座 消化器内科）
- O10-4 Crystal-storing histiocytosisを合併した潰瘍性大腸炎の1例
武富 啓展（佐賀大学医学部内科学講座 消化器内科）
- O10-5 抗EGFR抗体が奏効した潰瘍性大腸炎に発生したColitis associated cancerの一例
林 龍之介（旭川医科大学 内科学講座 病態制御・消化器・血液腫瘍制御内科学分野）
- O10-6 5-ASA製剤投与後に肺病変を生じCOVID-19感染症と鑑別に苦慮した潰瘍性大腸炎の一例
二木 直之（帝京大学医学部附属病院）

9:30~10:00 一般演題11（口頭）

座長：林田 真理（杏林大学医学部 消化器内科学）
山田 哲弘（東邦大学医療センター佐倉病院 消化器内科）

- O11-1 好酸球性胃腸炎との鑑別に難渋した小腸大腸型クローン病の一例
内田 信介（埼玉医科大学総合医療センター）
- O11-2 ウステキヌマブ投与中に経膣分娩に至ったクローン病の2例
岸 寛士（埼玉医科大学総合医療センター）
- O11-3 高安動脈炎を合併したクローン病の2症例
中島 昌利（熊本大学病院 消化器内科）
- O11-4 無症候性の巨大小腸結腸瘻を認めたクローン病の2例
越川 頼光（高の原中央病院 消化器内科）
- O11-5 短腸症候群に対してテデュグルチドを導入したクローン病の1例
阿部 哲之（北播磨総合医療センター 消化器内科）

10:05~10:41 一般演題13 (口頭)

座長：梅野 淳嗣 (九州大学大学院 病態機能内科学)
梁井 俊一 (岩手医科大学 内科学講座 消化器内科分野)

O13-1 潰瘍性大腸炎に対する経口5-ASA製剤初回投与後の不耐発生頻度と治療経過の検討
川上 瑤子 (東北医科薬科大学 消化器内科)

O13-2 炎症性腸疾患患者における5ASA製剤に対する薬剤誘発性リンパ球刺激試験の意義と実態
高橋 賢一 (浜松医科大学 第一内科)

O13-3 潰瘍性大腸炎の5ASA不耐症における大腸全層壁厚/UCEISスコアの有用性
小柴 良司 (みどりヶ丘病院 消化器内科)

O13-4 繰り返す腹膜炎が契機となり診断に至った家族性地中海熱の一例
上月 美穂 (大阪医療センター)

O13-5 MEFV遺伝子関連腸炎に合併した高安動脈炎、胸部大動脈瘤の一例
芳賀 将輝 (東京慈恵会医科大学附属病院 消化器・肝臓内科)

O13-6 IgA血管炎を併発したMEFV遺伝子変異を有する家族性地中海熱の1例
内田久美子 (東京医科大学病院)

10:45~11:09 一般演題15 (口頭)

座長：木谷 聡 (札幌厚生病院 IBDセンター)
細見 周平 (大阪公立大学大学院医学研究科 消化器内科学)

O15-1 Mirikizumab (抗IL-23p19抗体)の日本人を含む潰瘍性大腸炎患者での第3相寛解導入試験
小林 拓 (北里大学北里研究所病院 炎症性腸疾患先進治療センター)

O15-2 Mirikizumab (抗IL-23p19抗体)の日本人を含む潰瘍性大腸炎患者での第3相維持療法試験
小林 拓 (北里大学北里研究所病院 炎症性腸疾患先進治療センター)

O15-3 日本人を含む潰瘍性大腸炎患者を対象としたMirikizumab第3相導入療法試験での早期効果発現
松岡 克善 (東邦大学医療センター佐倉病院 消化器内科)

O15-4 中等症から重症の潰瘍性大腸炎を対象としたEtrasimod第3相試験結果 (ELEVATE UC)
日比 紀文 (北里研究所病院 炎症性腸疾患先進治療センター)

13:50~14:26 一般演題12 (口頭)

座長：橋本 真一 (山口大学医学部附属病院 光学医療診療部)
大森 鉄平 (東京女子医科大学 消化器内科)

O12-1 抗アンドロゲン薬フルタミド錠が原因と考えられた collagenous colitis の1例
藤井 久男 (平和会吉田病院)

O12-2 SARS-CoV-2 mRNA ワクチン接種後に重症腸炎を発症した一例
吉田 樹 (秋田大学医学部附属病院 消化器内科)

O12-3 pH依存性メサラジン製剤にて薬剤性無顆粒球症を発症した潰瘍性大腸炎の一例
松本 莉香 (高松赤十字病院)

O12-4 アザチオプリン投与後に門脈圧亢進症を認めた小腸大腸型クローン病の1例
矢崎 友隆 (島根大学医学部附属病院 肝臓内科)

O12-5 インフリキシマブ投与後に高安動脈炎を発症した小腸大腸型クローン病の1例
鶴岡ななえ (佐賀大学医学部内科学講座 消化器内科)

O12-6 ウステキスマブによる paradoxical reaction を呈したクローン病の2例
石戸谷奈緒 (独立行政法人国立病院機構 弘前総合医療センター)

14:30~15:06 一般演題14 (口頭)

座長：藤谷 幹浩 (旭川医科大学 内科学講座 病態代謝・消化器・血液腫瘍制御内科学分野)
星 奈美子 (神戸大学医学部附属病院 消化器内科)

O14-1 新規JAK阻害薬を用いた新たな潰瘍性大腸炎の治療戦略
吉岡慎一郎 (久留米大学医学部 内科学講座消化器内科部門)

O14-2 当院における潰瘍性大腸炎に対するフィルゴチニブの治療成績
清水 寛路 (東京医科歯科大学病院 消化器内科)

O14-3 潰瘍性大腸炎におけるフィルゴチニブ治療の有効性と安全性に及ぼすチオプリン併用の影響
渡辺 憲治 (兵庫医科大学 消化器内科, 炎症性腸疾患センター)

O14-4 コルチコステロイド併用有無別の潰瘍性大腸炎患者におけるウパダシチニブの有効性及び安全性
石黒 陽 (国立病院機構弘前総合医療センター 消化器・血液内科)

O14-5 ウパダシチニブは長期の臨床効果に関連する組織学的及び内視鏡的粘膜治癒を促進する
谷田 諭史 (名古屋市立大学大学院医学系 地域医療教育研究センター)

O14-6 中等症から重症のクローン病に対するウパダシチニブの第3相導入療法試験：全体集団と日本人集団の結果

仲瀬 裕志 (札幌医科大学医学部 消化器内科学講座)

15:10~15:40 一般演題16 (口頭)

座長：松本 主之 (岩手医科大学 内科学講座 消化器内科分野)

穂苅 量太 (防衛医科大学校 内科学講座(消化器))

O16-1 リサンキズマブはクローン病患者の内視鏡所見を持続的に改善し、炎症性バイオマーカーを正常化する

角田 洋一 (東北大学 消化器内科)

O16-2 クローン病患者におけるリサンキズマブの有効性：生物学的製剤無効歴及び疾患部位別の第3相部分集団解析

杉本 健 (浜松医科大学 内科学第一講座)

O16-3 潰瘍性大腸炎に対するグセルクマブ及びゴリムマブ併用の導入療法後の単剤維持療法：VEGA 試験

小林 拓 (北里大学北里研究所病院炎症性腸疾患先進治療センター)

O16-4 中等症から重症の潰瘍性大腸炎に対するグセルクマブの導入療法の有効性と安全性：QUASAR 導入試験1

久松 理一 (杏林大学医学部 消化器内科学)

O16-5 中等症から重症のクローン病に対するグセルクマブの維持療法の有効性と安全性：GALAXI 1 試験

久松 理一 (杏林大学医学部 消化器内科学)

16:20~16:44 一般演題17 (口頭)

座長：中村 正直 (名古屋大学医学部附属病院 消化器内科)

田中 浩紀 (札幌IBDクリニック)

O17-1 潰瘍性大腸炎における血球除去療法の検討

林 智之 (金沢大学附属病院 炎症性腸疾患センター)

O17-2 顆粒球吸着除去療法(GMA)の臨床効果における併用薬剤の影響からみた最適な治療戦略を考える

杉山 雄哉 (旭川医科大学内科学講座 病態代謝・消化器・血液腫瘍制御内科学分野)

O17-3 当院GMA 169治療中、腸管外症状を示した12例の経過と予後

大森 敏秀 (大森敏秀胃腸科クリニック)

O17-4 潰瘍性大腸炎におけるイムノピュア治療の不具合と安全性に関する検討

太田 隆聖 (札幌IBDクリニック)

16:46~17:10 一般演題18 (口頭)

座長：佐々木誠人 (愛知医科大学 消化管内科)
細江 直樹 (慶應義塾大学医学部 内視鏡センター)

- O18-1 当科及び関連病院における後期高齢潰瘍性大腸炎患者の臨床的特徴
廣部 洋輔 (札幌医科大学 消化器内科)
- O18-2 当院におけるNUDT15 遺伝子多型 Arg/Cys 症例の臨床経過
加賀谷尚史 (国立病院機構 金沢医療センター 消化器内科)
- O18-3 クロウン病における極細径内視鏡を用いた小腸内視鏡検査の有用性
北本 博規 (京都大学医学部附属病院)
- O18-4 臨床的寛解かつCRP値正常のクロウン病における小腸カプセル内視鏡所見の検討
濱田 隆仁 (札幌IBDクリニック)

17:12~17:42 一般演題19 (口頭)

座長：加藤 順 (千葉大学大学院医学研究院 消化器内科学)
竹中 健人 (東京医科歯科大学 消化器内科)

- O19-1 高齢者潰瘍性大腸炎における便中カルプロテクチン定量の有用性と課題
徳弘 直紀 (仁医会 牧田総合病院)
- O19-2 潰瘍性大腸炎におけるベドリズマブの有効性に関する予測因子としての便中カルプロテクチンと有用性
佐藤 将嗣 (辻仲病院 柏の葉 診療技術部薬剤科)
- O19-3 臨床的寛解状態の潰瘍性大腸炎患者におけるロイシンリッチ α 2グリコプロテインの有用性についての検討
西俣 伸亮 (医療法人潤愛会 鮫島病院)
- O19-4 クロウン病の肛門病変とLRGの関連についての検討
近藤 哲 (医療法人愛知会 家田病院)
- O19-5 Adalimumab・Ustekinumabによる長期寛解維持のための寛解導入期LRG測定の有用性
天野 孝広 (大阪大学大学院医学系研究科 消化器内科学)